
COBOLと共に歩む基幹システムの モダナイゼーションとその未来

株式会社 日立製作所

サービスプラットフォーム事業本部

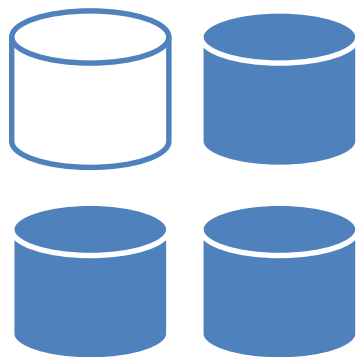
IoT・クラウドサービス事業部

フローマネジメント本部 基盤ソフトウェア部

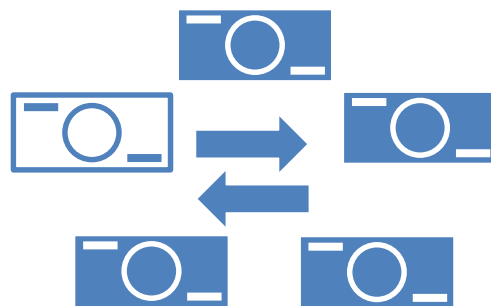
五百木 伸洋

1. 世界中にあるCOBOLアプリケーションの量

ビジネスデータ



金融取引



コード量



75%

90%

2,000億
ステップ

出典： COBOL誕生50周年記念セミナー～社会を支える“ことば”。これまでも、そしてこれからも～（2010年4月16日配布資料）
日本アイ・ビー・エム「COBOL開発ライフサイクルを刷新するエンタープライズ・モダナイゼーション」

■ 既存のプログラム資産を活用できる

昔からある信頼性の高いプログラム資産を使って
新たな価値を生み出せる

■ 金額計算に向いている

変数の宣言で桁数を指定するだけで
十進数での丸め誤差を制御した計算ができる

■ DB・メモリ設計がしやすい

データ構造が静的で理解しやすい

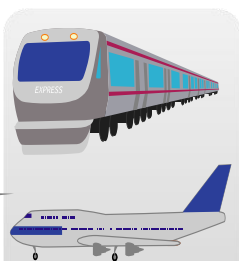
▶▶ 基幹業務システムで今後も活躍

3. 社会基盤に使われる日立のCOBOL

日立製作所は長年COBOLで業務システムを開発しており、多くの社会基盤に採用されています。



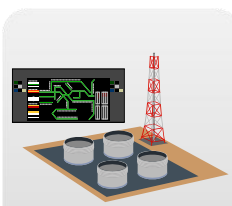
金融機関オンライン
システム



公共交通機関座席
予約システム



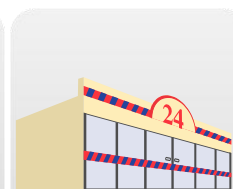
行政機関の税金計算



公共料金計算
システム



クレジット
カードシステム



小売業の受発注
管理システム

etc.

COBOL2002を使うことで既存資産の活用の方が広がります

▶ 既存のCOBOL資産を活用

開発コストを抑えて新サービスに対応

▶ Java資産も有効活用

Java⇔COBOL連携で既存業務ロジックの信頼性を維持しつつWeb対応可

▶ 64bitアプリケーションに対応

▶ 強固なサポートと保守性

ミッションクリティカルシステムに対してこそ、真価を発揮！

COBOL2002を使用した ミッションクリティカルシステムの事例をご紹介します

- OracleとJavaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- COBOL2002製品の機能については、COBOL2002のWebサイト(<https://www.hitachi.co.jp/soft/cobol/>)をご覧ください。
- 製品仕様は、改良のため変更することがあります。

HITACHI
Inspire the Next